

## 令和元年度における認知症関連事業の実施実績（速報値）

No.	項目	計画上目標値 <sup>※1</sup>	実績（令和元年12月28日時点）	達成 <sup>※2</sup> 度合	成果	課題・次年度以降の展開
1	認知症地域支援推進員連絡会	月1回実施	○各地域包括支援センターに推進員を配置。市と推進員とで月に1回認知症関連事業に関する協議を行った（計9回）。	A	○市と推進員とで情報の共有、各種事業の検討を行うことができた。	○医療機関、介護サービス及び地域の支援機関が有機的に連携するネットワークの形成を図り、認知症の方及びその家族の支援を適切に行うため、引き続き、情報の共有、各種事業の検討等を行う。
2	認知症地域支援推進員連絡会ワーキンググループ	—	○推進員同士が月に1回認知症関連事業に関する協議を行った（計9回）。	—	○推進員同士の情報の共有、各種事業の検討を行うことができた。	○引き続き情報の共有、各種事業の検討等を行う。
3	認知症を考える会	—	○令和元年度は、未開催 ○認知症サポーター養成講座開催時の応援、各種情報の伝達等を行った。	—	○キャラバン・メイト養成研修の周知など、関係者に対し、情報の伝達を行うことができた。	○平成30年度に認知症施策に関する意見交換を行ったところ、会議を行うよりも具体的な事業に取り組みたいとの意向を受けており、令和元年度は未開催だった。 ○今後も市事業の協力依頼や情報伝達手段として、会加盟者へ連絡を行っていく。
4	認知症施策事業推進委員会	年2回実施	○5月30日に1回開催 ○令和元年度の認知症施策及び認知症安心ガイドブック（令和2年度改訂版）の検討等を行った。	A	○認知症安心ガイドブックの修正点の洗出し等を行うことができた。	○引き続き、認知症の方本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるとともに、その家族が安心できるよう、認知症施策について、検討・推進する。 ○令和2年度中の認知症安心ガイドブック発行へ向け、適切な調整を行う。
5	認知症連携会議	—	○5月13日と9月3日の2回開催 ○地域包括ケアシステム研究会認知症部会と合同開催	—	○認知症部会と合同開催とすることで、効率的に事業を行うことができた。 ○5月13日に開催した第1回目では、80人が参加し、初期集中支援事業実施事例及び認知症連携シート活用事例の事例検討及び市の認知症事業の説明を行い、多職種の連携強化を図ることができた。 ○9月3日に開催した第2回目では、95人が参加し、「各職種の認知症対応の強みを知ろう」をテーマにグループワークを行い、多職種の連携強化を図ることができた。	○引き続き認知症部会と合同開催することで、効率的な運営を行い、多職種の連携強化を図る。

No.	項目	計画上目標値※1	実績（令和元年12月28日時点）	達成※2 度合	成果	課題・次年度以降の展開
6	認知症初期集中支援事業	—	○7件	—	○認知症が疑われるものの医療等の支援を受けていない市民を対象に、専門職によるチームで訪問し、支援を実施	○必要な方へサービスが行き届くよう事業の周知を適切に行う。
7	認知症サポーター養成講座	サポーター 年600人増	○認知症について正しく理解し、出来る範囲で支援する「認知症サポーター」の養成講座を実施	B	○受講者に対し、認知症についての正しい理解を図ることができた。 ○各参加人数は次のとおり（計322人）	○引き続き講座の周知、特に若年層や高齢者の介護を担う世代へ向けての取組を検討していく。 ○キッズ認サポの受入先増加へ向けた検討を行う。
8	市民向け（定期開催）	—	○6月21日と9月24日の2回開催 ○第3回を令和2年2月28日に開催予定	—	○第1回：9人 ○第2回：9人	
9	ステップアップ講座	年1回実施	○11月19日に1回開催	A	○27人	
10	キッズ認サポ	—	○11月22日に小金井第一中学校で1回開催 ○11月22日及び29日に南中学校で2回開催 ○令和2年1月18日に小金井第二小学校で開催	—	○小金井第一中学校：30人 ○南中学校：126人	
11	市職員向け	—	○7月24日に1回開催 ○第2回を令和2年3月に開催予定	—	○第1回：40人	
12	その他	—	○要望のあった団体等に対し、適宜講座を開催した。	—	○三井住友信託銀行職員：7人 ○みずほ銀行：32人 ○その他：42人	
13	認サポ以外	—	○民生委員向けに勉強会を開催した。	—	○民生委員：54人	
14	認知症講演会	年1回実施	○令和2年2月21日に認知症当事者による講演会を実施予定	(A)	—	
15	やすらぎ支援事業	交流会 年1回以上の実施	○軽度の認知症状がある高齢者にボランティアが訪問し、話し相手、声掛け等の援助を行った。 ○支援員の交流会を11月20日に開催	A	○認知症高齢者の見守りや話し相手となることで、本人及びその家族等の福祉の向上を図ることができた。 ○支援員数：8人 ○利用者数：9人（利用中止3人を含む。） ○訪問回数：137回	○利用者の希望日と支援員の都合が合わない、利用者宅が支援員宅の至近にないなど、利用者支援員のマッチングが困難な事例があることから、支援員増加に向けた取組の検討を行う。

No.	項目	計画上目標値※1	実績（令和元年12月28日時点）	達成度※2	成果	課題・次年度以降の展開
16	家族介護継続支援事業	—	○認知症高齢者を介護する家族に対する交流会や講習等の機会を設け、情報共有や身体的・精神的負担軽減を図る事業を実施	—	○認知症高齢者を介護する家族に対し、精神的負担を軽減することができた。 ○各参加者数は次のとおり	○介護者の孤立感の防止を図り、精神的な負担を軽減するための重要な事業である。定期的な周知活動に加え、更なる参加促進について取組を検討する。 ○各家族会間の年間予定等の確認を行い、情報交換を行うことで相乗効果を狙うとともに、地域資源を活用した取組の検討を行う。
17	まなぶ・語る・つながる～家族の会～	—	○ひがし地域包括支援センターへの委託事業 ○偶数月の第2土曜日に開催（計4回。10月の第4回は台風接近に伴い中止） ○第6回を令和2年2月に実施予定	—	○第1回：18人 ○第2回：26人 ○第3回：11人 ○第5回：12人	
18	認知症家族の集い	—	○緑寿園ケアセンターへの委託事業 ○5月11日、7月13日、10月5日及び12月7日の4回開催 ○第5回を2月1日に開催予定	—	○第1回：6人 ○第2回：11人 ○第3回：6人 ○第4回：1人	
19	認知症高齢者を支える家族の集い	—	○本町高齢者在宅サービスセンターへの委託事業 ○毎月第1土曜日に開催（計9回）	—	○第1回：2人 ○第6回：2人 ○第2回：2人 ○第7回：4人 ○第3回：6人 ○第8回：10人 ○第4回：2人 ○第9回：4人 ○第5回：2人	
20	家族介護継続支援事業担当者連絡会	—	○上記3事業の担当者連絡会を3回開催 ○第4回の連絡会を3月に実施予定	—	○市、担当者と推進員とで情報の共有、各種事業の検討を行うことができた。	
21	認知症チェックシステムの導入	—	○早期発見及び普及啓発を図るため、認知症の初期スクリーニングシステムを導入 ○アクセス数：4,371件	—	○市報で周知を行ったことで、アクセス数が増加し、早期発見等に寄与した。	○市報掲載により一時的にアクセス数が増大したことから、定期的な市報掲載について検討する。
22	見守りシール事業	—	○7月1日から事業を開始し、市報、ホームページ等により周知するとともに、介護事業所等への周知、各種イベントでの周知を行った。 ○搜索模擬訓練は、台風接近に伴い中止	—	○本事業及び「みまもりあい」アプリの周知を行い、地域の見守り体制の構築・連携の強化を図った。 ○利用者数：6人 ○アプリ登録者数：3,845人	○地域の見守り体制の強化を図るため、本事業及び「みまもりあい」アプリの周知を引き続き行っていく。
23	徘徊高齢者探索サービス	貸与数30件	○高齢者が発信機を携帯し、居場所が不明である時に、介護者が委託事業者に高齢者の位置を問合せ、保護を図った。	B	○貸与人数：11人 ○対象者が発信機を携帯し、居場所が不明であるときに介護者が委託事業者に高齢者の位置を問い合わせ、保護を図ることができた。	○事故の防止を図るなど家族が安心して在宅で介護できるよう努めるため、引き続き機器の貸与を行っていく。
24	研修・その他	—	○東京都等が開催する研修等に適宜参加	—	○市職員及び推進員ともに自己研鑽に努めた。	○市職員及び推進員ともに引き続き自己研鑽に努め、認知症の方及び家族の支援の向上を図る。

※1「計画」とは、第7期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画を指す。

※2「A」：目標値を達成している。

「B」：目標値を達成していないが、事業は進捗している。

「C」：目標値を達成しておらず、事業進捗が見られない。